

秋田市教育委員会
会 議 録

令和5年2月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和5年2月定例会会議録

- 1 日 時 令和5年2月15日(水曜日)
午後3時30分～午後4時35分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室長
生涯学習室長
秋田商業高等学校長
秋田商業高等学校事務長
御所野学院高等学校事務長
美大附属高等学院事務長
総務課長補佐
総務課副参事
学事課長補佐
教育研究所副所長
総務課主席主査
学事課主席主査

教育研究所主席主査
学校適正配置推進室主席主査
総務課主任

5 議 題

【教育長等の報告】

- (1) 市立高等学校等の入学者選抜志願状況について
- (2) 秋田市立秋田商業高等学校の定員について
- (3) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について
- (4) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

6 議 事 午後3時30分開会

【令和5年1月定例会および2月臨時会会議録の承認】

令和5年1月定例会および2月臨時会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【非公開の議決】

教育長 報告(2)は、秋田市教育委員会会議規則第7条第5号に規定する会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障を生ずるおそれのある事項に当たる案件であり、現段階では公の場で審議した場合、事務局の説明や、我々を含め出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがある。

したがって、この案件については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書の規定

により、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うがどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決した。

【教育長等の報告】

(1) 市立高等学校等の入学者選抜志願状況について

教育長 報告(1)「市立高等学校等の入学者選抜志願状況について」、事務局から説明願う。

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 昨年度までの前期選抜と一般選抜から、一般選抜と特色選抜に変わったが、現時点で気が付いたことや特徴的なことがあれば教えてほしい。

学校教育課長 特色選抜の倍率が低かったが、県全体の倍率の平均が下がっているため、それがどこまで影響しているかなど、これから精査が必要だと考えている。当初、特色選抜で志願する生徒は、一般選抜と併願する生徒が多いのではないかと予想していたが、特色選抜のみで志願する生徒が多かった。併願を選択せずに自信を持って志願した生徒もいると聞いており、今後、情報収集し、分析したいと考えている。

教育長 前期選抜と同時に特色選抜を行うこととなるが、秋田商業高等学校長としては、どのような感触か。

校長 中学校の先生たちに聞くと、今まで1月の前期選抜と3月の一般選抜の2回挑戦できたが、1次募集の1回になったことで遠慮した生徒もいたようである。特色選抜で志願する生徒は、一般選抜も併願するだろうと予想していたが、特色選抜のみで志願する生徒もいることは確かである。

委員 美大附属高等学院についてであるが、今回から1回の選抜にしたことで、この変化についての生徒や中学校の感触はどうか。

事務長 これまで前期選抜は専願のみ、後期選抜は専願と併願で募集してきたが、これまでも専願の生徒が大部分を占めて

おり、昨年度の後期選抜の志願倍率は、1.67倍と高くなっていったものの、実際には前期選抜で不合格になり、後期選抜で再度志願する生徒が多く、実質の志願倍率は、約1.2倍程度であり、昨年度とあまり変わらないという感触である。

委員 一般選抜の1回のみにしたことは、生徒や中学校にとってよかったと判断してよいということか。

事務長 そのとおりである。一般選抜の合格発表が、高等学校の1次募集の願書受付が始まる前であるため、残念ながら不合格となった生徒は、高等学校の選抜に志願することができるともなり、よかったと思われる。

委員 美大附属高等学院についてであるが、昨年度までは前期選抜と後期選抜に分かれていたことによって、美大附属高等学院側としても色々大変であったように聞いていたが、今年度から一般選抜の1回になったことで、どのように変わったのか教えてほしい。

事務長 昨年度までは、前期選抜が1月の初め、後期選抜が高等学校の一般選抜の実施前の2月であり、かなりタイトな日程であったが、今年度からそのような日程でなくなり、一般選抜の合格者に、入学までの課題なども出すことができるようになったため、そういった点はよかった。

委員 御所野学院高等学校についてだが、連携型中高一貫教育校になり、御所野学院中学校以外から生徒が入学することができる形に移行して3年が経過し、他の中学校からの御所野学院高等学校の選抜の認知度はどのようなものか教えてほしい。

事務長 令和2年度は、前期選抜が8名、一般選抜が22名の合計30名の受検者数であった。今年度は、志願者数が47名であるため、少しずつではあるが、認知度が上がってきているのではないかと捉えている。

教育長 中学校の生徒数が減少する中で、少しずつでも志願者数が増えているということは、これまでのPRの効果であると感じた。

事務長 今後も、志願者が増えるようPRを継続していきたいと思う。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(3) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

教育長 報告(3)「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について」、事務局から説明願う。

教育研究所長 (資料に基づき説明)

委員 小学生も中学生も運動に対して意識が高いと感じたし、体育、保健体育の授業が楽しいとの回答や、進んで学習に参加している児童生徒の割合が高く、体育、保健体育の授業が充実しており、非常に好ましい結果であると思った。

中学校女子が体力面で全国平均を下回っている種目が多いことが気になるところであるが、体育、保健体育の授業を受けることについて、生活を健康で明るいものにする1つの要素だと捉えたり、体力・運動能力を向上したいという意欲が高いことから、児童生徒が主体的に活動できる場面を作っていく取組が大事だと感じた。

体育、保健体育の時間をもう少し増やすことが、体力向上に直接つながっていくのだろうと思うが、カリキュラムは決められているため、体育行事を全市的に工夫して行っていけば、児童生徒も伸び伸びと体を動かすことを楽しんで、自ずと体力も付くのではないかと感じた。

委員 体育、保健体育の授業が楽しい、進んで学習に参加しているという運動やスポーツに対してプラスのイメージを持っている児童生徒が非常に多く、全国平均と比べても高いが、学校でどのような取組をしているのか。

教育研究所長 各校においては、様々な場面で、児童生徒ができたという気持ちを持つことができたり、意欲につながる取組を進

めている。

I C T活用の面では、動画撮影をしている学校が多かった。例えば、柔道の投げ技について、撮影する人、投げる人、投げられる人の3人でチームを組んだり、球技における投げ方を撮影し、それを自分で振り返ったりといったことが見受けられた。また、一部の学校において、マイクロソフトのF o r m s という集計ソフトを使って振り返りに活用する例も見受けられた。

質問紙調査において、体育の授業が楽しいということについての理由を問う質問が今年度から加わり、児童生徒は、できなかったことができるようになること、友達と一緒に運動できることを理由に挙げていた。

I C Tについては、各校の指導でも使うことができるように周知していきたいと思う。

委員

体力合計点が全国平均を上回っていることについては、学校で体力・運動能力が身に付く教育を行っている成果だと感じた。

また、質問紙調査結果についても、運動やスポーツについて、小学校、中学校共に非常に意欲的に取り組んでいると全体的に見受けられた。

各種目の結果については、小学校の50メートル走だけが全国平均を下回っており、毎年度このような結果になっていると思われる。これまでも対策していると思うが、冬の間走り回ることができないためか、登下校に車で送迎してもらい児童が増えてきているためか、なかなか全国平均を上回ることができないが、いずれは上回ってもらいたい。

教育長

小学校男子女子共に、50メートル走がずっと全国平均を下回っているが、今回の中学校男子の50メートル走が全国平均を上回っており、この生徒たちが小学校5年生の時は、全国平均を下回っていたことから、この伸びの要因を考えるのも一つの視点だと思う。中学校男子の50メートル走は、例年全国平均を上回っているのではないか。

教育研究所長 全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、調査開始から13回行われており、50メートル走については、小学校男子は全国平均を下回ることがほとんどであり、小学校女子はほとんど全国平均と同値又はそれを下回る状況である。中学校男子は全国平均を下回る年が少なく、同値又は今年度のように上回る年度も出てきているが、女子については下回ることが増えてきている。

委員 運動やスポーツにおいて、投げることは一つの基本動作であると思うが、小学校のソフトボール投げは、全国平均を上回っているにもかかわらず、中学校のハンドボール投げは全国平均を下回っている。色々な要因があると思われるが、体育、保健体育の授業が楽しく、進んで学習に参加していたり、友達と一緒に体を動かすことが好きだとのことであるにもかかわらず、中学生になると運動能力が全国平均を下回る要因として、例えば、ゲームやスマートフォンの時間が長いことで、家庭で体を動かす機会が減っていることが考えられるが、家庭での運動や家族との時間の過ごし方で気になるところはないか。

教育研究所長 今回の質問紙調査において、家庭での運動に関する質問はなかったが、スマートフォンやゲーム機等の画面を見ている時間と体力合計点についての結果は、クロス集計で秋田市に提供されている。それによると、2時間以上スマートフォン等の画面を見ている児童生徒は、どちらかという体力合計点が低い状況であり、5時間以上の児童生徒は、圧倒的に体力合計点が低い状況であった。

委員 学校と家庭とが協力しながら、家庭においても体を動かすような機運を醸成する指導が秋田市に必要であると思われる。

教育長 当日配付資料の7ページの〈家庭・地域との連携した取組〉にあるとおり、家庭とも連携しつつ、運動やスポーツによる健康で明るい過ごし方も大事であると思う。

また、コロナ禍となり3年が経過したが、全国平均を上回っているものの、体力合計点自体の推移はどのようにな

っているのか。

教育研究所長 本市における体力合計点については、小学校男女、中学校男子は、調査開始以来、全ての調査回において全国平均を上回っている。中学校女子は、上回っている年度と下回っている年度が約半分ずつという状況である。

また、昨年度との比較においては、小学校男女は上回っていたが、中学校男女は下回っていた。

委員 全国平均の推移はどのようになっているのか。

教育研究所長 コロナ禍となり、運動時間が少なくなったこともあったためか、全国平均の体力合計点も下がってきている。

教育長 秋田市の児童生徒は、全国平均と比較すると、よい種目が多いが、コロナ禍により運動不足になっているとも考えられることから、今後も運動習慣が身に付くように指導していかなければいけないと感じた。

※ 報告(3)については、以上のとおり終了した。

(4) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(4)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

委員 旭北小と旭南小について、色々議論しているが、なかなか決まらないため、どちらの校舎がよいかについて、実際に現地視察をすることになったのは、おそらくお互いの学校を見たことがない方も多いと思われることから、実際に見ていただいた上で意見を持つことになるため、非常に参考になる一つの手法であると思った。

委員 土崎小と土崎南小は、かなり進んだと感じる。他の学校においても、色々と進めてきているものの、なかなか調整が難しいところもあるように感じられるため、例えば、旭北小と旭南小ではお互いに現地視察をしているなどの事例を他の学校にも提供し、できる限り客観的に、納得できる形で統合に向けて準備できるような環境を作ることが大切

ではないかと思う。

学校適正配置推進室長 様々な地域協議の中で、これまでも過去の例や他の協議状況の報告はしているところであり、条件や規模などがそれぞれ異なるものの、引き続きこれからの新しい事例についても報告していきたいと思う。

※ 報告(4)については、以上のとおり終了した。

【その他】

学校教育課長 卒業式におけるマスクの取扱いについてであるが、秋田市としては、文部科学省から発出された「卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について」という通知を充分検討し、2月14日付けで各校に通知を发出し、次のように対応することとした。

マスクの着用を求めない見直しは、4月1日から行うこととする。

卒業式においては、児童生徒と教職員は、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とするが、国歌、校歌等の斉唱や合唱、複数の児童生徒による呼びかけの際は、マスクを着用した上で行うこととする。また、来賓や保護者等は、マスクを着用するが、参加人数の制限は設けないこととする。これは、基本的な考えであり、その時の感染状況、卒業式の形態や参加人数等学校の実情に応じて適切な対応を求めたいと考えている。

これらの対応や考え方については、3月初めの校長会において、保護者等に丁寧に説明するよう伝えるつもりである。

委員 3月13日以降からマスクの着用が個人の判断に委ねられる形になるはずだが、高等学校の卒業式はその前であり、どのような対応をするのか。

学校教育課長 高等学校の卒業式に関しては、県高校教育課から通知されており、先ほどと同様に対応していきたいと考えている。

教育長 基本的な考え方で、式典全体を通じてマスクを外すこと

としているが、事情によってはマスクの着用を希望する児童生徒もいると考えられるため、外すことを強制するものではないということによいか。

学校教育課長 児童生徒や各家庭によって色々な事情があると思われるため、決して強制するものではない。

教育次長 卒業式におけるマスクの取扱い等について国から通知が発出されているが、中学校は、3月9日あたりに卒業式が予定されており、その後3月10日の追試や、その1週間後の追々試がある状況であるため、国から示されている対応よりも若干厳しい対応をせざるを得ないものであるが、そういった考え方を生徒や保護者に説明することが大事であると思っている。

教育長 説明のあった考え方を各校にしっかりと周知し、児童生徒や保護者に理解を得る対応をしてほしい。

【今後の日程についての報告】

総務課長補佐 今後の日程についてお知らせする。2月臨時会を2月27日月曜日午後4時に開催し、3月定例会を3月16日木曜日午後3時30分に開催する予定である。

教育長 2月臨時会は2月27日月曜日午後4時から、3月定例会は3月16日木曜日午後3時30分から開催予定とのことである。委員の皆様、よろしく願いする。

【教育長等の報告】

(2) 秋田市立秋田商業高等学校の定員について

報告(2)については、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第21条の規定に基づき、会議録に記載しない。

午後4時35分閉会